

## ● 事業名

## 南紀熊野サテライト事業

## ● 1. 南紀熊野サテライトの概要

和歌山大学南紀熊野サテライトは、紀伊半島南部に高等教育機関が少ないことから、和歌山大学、和歌山県、紀南地域11市町村等が連携して「知の拠点」を構築することを目的に2005年度に、和歌山県立情報交流センターBig・U内に開設された。南紀熊野サテライトの2022年度の事業の主な方針は、以下の4点である。

- (1) 実践力のある人材育成、ニーズに合った多様な学習機会の提供
- (2) 高校との連携強化
- (3) 学生、教員の地域交流活動の支援、教育研究の支援、地域情報の提供
- (4) 産学連携、共同研究、教育研究プロジェクトの支援



和歌山県情報交流センター  
Big・U

## ● 2. 2022年度の実施内容

## (1) 高等教育事業

- ① 大学院経済学研究科授業  
(前期開講)

授業科目名	担当教員	受講者数		
		サテライト	大学院生	合計
家族関係法	和歌山大学経済学部 吉田 雅章教授	5	1	6
社会保障法	和歌山大学経済学部 金川 めぐみ教授	6	2	8
マーケティング論	和歌山大学 柳 到亨教授	6	12	18
合計		17	15	32

(後期開講)

授業科目名	担当教員	受講者数		
		サテライト	大学院生	合計
アグリビジネス論	食農総合研究教育センター 岸上 光克教授	6	3	9
経済思想史	和歌山大学経済学部 阿部 秀二郎教授	7	4	11
公益事業論	和歌山大学経済学部 上野 美咲講師	5	7	12
現代中国経済	和歌山大学経済学部 金澤 孝彰教授	2	4	6
合計		20	18	38

- ② 学部開放授業

(前期開講)

授業科目名	担当教員	受講者数		
		サテライト	学部生	合計
経営人類学	和歌山大学観光学部 出口 竜也教授ほか	3	19	22
コロナ後の世界と私たちの生活	和歌山大学経済学部 金川 めぐみ教授ほか	9	60	69
癒やしとメンタルヘルス	和歌山大学経済学部 藤永 博教授ほか	20	30	50
合計		32	109	141

(後期開講)

授業科目名	担当教員	受講者数		
		サテライト	学部生	合計
暮らしと法律	和歌山大学経済学部 吉田 雅章教授	6	10	16
旅人の哲学	和歌山大学名誉教授 天野 雅郎	21	50	71
合計		27	60	87

(通年開講)

授業科目名	担当教員	受講者数		
		サテライト	学部生	合計
地域づくりの理論と実践C	和歌山大学観光学部 大浦 由美教授ほか	12	15	27

**(2) 地域連携事業**

## ① サイエンスカフェ (テーマ：田辺祭について)

開催日：2022年7月23日(土) 参加者25名

場 所：tanabe en+ (タナベンプラス)

内 容：「日本の祭りの現状と今後の継承」をテーマに、いかに地域の伝統的な祭りを守り、いかに次世代へと継承していくべきかなのか、この世界共通のテーマに経営学、人類学、民俗学の立場から切り込んでいくカフェ形式の交流の場を開催した。



サイエンスカフェの様子

## ② 田辺祭報告会 (テーマ：田辺祭りを世界に発信)

開催日：2023年1月29日(日) 参加者20名

場 所：鬮雞神社社務所

内 容：和歌山大学紀州経済史文化史研究所と連携し、7月24日～25日に田辺市で開催された「田辺祭」の調査を行った。聞き取り調査の成果をOSMとLocalWikiを活用して発信し、その結果を地域に還元する地域情報の「見える化」の実現に取り組んだ。この活動の報告会を写真撮影で協力いただいた神島高校写真部も参加し開催。

話題提供者：和歌山大学紀州経済史文化史研究所 吉村 旭輝准教授

和歌山大学観光学部 出口 竜也教授ほか

## ③ 南紀熊野観光塾 (テーマ：新年度を迎えるにあたって何をすべきか)

開催日：2023年3月14日(水) 参加者50名

場 所：和歌山県立情報交流センターBig・U情報研修室2 (オンライン開催)

内 容：観光関係者、地域活動実践者等を対象として、「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広める観光カリスマ」の山田桂一郎氏(和歌山大学南紀熊野サテライト客員教授)を塾長に、持続可能な地域経営を考えて自主的に取り組む次世代の観光産業のリーダーとなる人材育成を目的に開催。

今年は、オンライン開催とし、レジリエントな観光地域づくり組織の作り方や、国内の観光需要が戻りつつある中で、我々がなすべきことは何かについて多様な講師陣の講義と意見交換を行った。

**● 3. 今後の課題**

南紀熊野サテライトでは、2022年度から6か年計画の「和歌山大学南紀熊野サテライトみらい戦略四期計画アクションプラン」に基づく各種取組がスタートしたところである。少子高齢化が進展する南紀熊野地域において、持続可能な地域経済活動や地域振興に繋げる教育機会の創出など、南紀熊野サテライトが果たすべき役割は何かを常に考えながら、地域の「知の拠点」として地域に寄り添いながら地域と共に活動していきたい。

事業に関するお問い合わせ

南紀熊野サテライト

E-mail : nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>